

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 07010030

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	8	子育て・子育ての充実	事業優先度	B		
単位施策	1	「子育て」支援の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	児童センター改修整備事業		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	7 児童センター		
事業主体	雄武町		関係課	11 町有施設整備室		
事業指標	改修を必要とする建物数			#N/A		
事業目標	1箇所		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	児童センター改修工事 ・屋根、外壁等塗装工事 ・駐輪場整備 ・玄関手すり改修 ・1階ホール用カーテン設置				※平成29年度へ繰越 児童センター改修工事	※前年度から繰越 児童センター改修工事 ・屋根、外壁等塗装工事 ・駐輪場整備 ・玄関手すり改修 ・1階ホール用カーテン設置	
	事業費(千円)	13,870	0	0	0	13,870	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	13,870				13,870		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	13,554	0	0	0	13,554	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	13,554					13,554	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】					児童センター改修工事	
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値					1箇所
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	#DIV/0!
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	98%	
	備考欄						

事業名	児童センター改修整備事業	評価者 管理職 職氏名	児童センター館長	大水麻理
		評価者 作成者 職氏名	児童センター係	田中宏典

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	全ての児童、子育て中の親子	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	施設箇所数
【抱える課題やニーズは】	子ども達が過ごす施設として施設の長寿命化及び利用者の安全性、利便性の向上が必要である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	これからも使う施設として施設の長寿命化はもちろん、子ども達が過ごす施設として安全性、利便性の向上を図る。	① 施設箇所数	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	児童の魅力ある居場所となり、健全育成が図られる。		平成29年度 1箇所 1箇所 100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	児童センター外部改修工事	施設の長寿命化及び利用者の安全性、利便性の向上を図るため、外壁塗装等改修、玄関駐輪場等改修、ホール用カーテン設置を行った。	②
			平成29年度 目標値 実績値 達成度
			〇〇 〇〇 #DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	多くの子ども達が過ごす施設であることや様々な行事等を行う施設であることから整備が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	利用者数については、大きな増加はないものの、子ども達が施設を利用する上での、状況を確認する中で利便性の向上が図られていると感じることから有効であったと判断する。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	施設の長寿命化及び利用者の安全性、利便性の向上を図るために実施しており、利用者の利用状況で判断できる分においては、コストに見合った効果が得られたと判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	全ての乳幼児、児童、中高生の利用が可能な施設である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
児童クラブとしての利用はもちろん行事においても多くの利用者がある中で、施設の長寿命化だけではなく、安心で利用しやすくなる施設の改修は必要であり、本事業の目的が達成された判断する。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
本事業は施設改修に伴う単年度事業であり、予定していた改修においては目標が達成されたことから終了とする。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止